

「ポーランド国際大会を終えて」

早稲田大学 荒井和也

この度は、ポーランド国際大会に参加させていただき、ありがとうございました。貴重な体験をすることができました。その中でも特に印象的であったことについて二点挙げさせていただきます。

一点目は卓球の技術面についてです。日本人選手以外の選手と試合をした際に、縦回転のサーブと回転の無いナックルサーブが有効的で、得点に繋げやすかったという点です。特にヨーロッパの選手にはよく効いたイメージでした。逆に、少し横回転を入れると角度を合わせられ、あまり良い展開に繋げられませんでした。理由としては、日本の卓球選手よりも縦系のサーブが少ないことと、ヨーロッパの選手の方がさまざまな回転のサーブを持っていることが挙げられるかと思いました。今後、海外の選手と試合を行うとなった際は、考慮して試合をしていきたいと思います。

二点目は私自身の英語力についてです。ポーランドのホテルに滞在させていただいた期間に、軽いトラブルが多々ありました。その際に、ホテルマンとのコミュニケーションを試みましたが、なかなか会話をすることができず、携帯電話の翻訳機能を使うことになってしまいました。これから卓球の練習だけでなく、学生の本業である学業も見直さなければいけないと思いました。

1週間という時間の中で、多くの刺激をいただくことができました。この機会を得て、私自身成長に繋がれたらと思います。改めて、貴重な機会をいただきありがとうございました。